

近畿地方整備局 足羽川ダム工事事務所
資料配布

配布日時	平成31年3月14日 17時00分
------	----------------------

件名	第6回足羽川ダム環境モニタリング委員会の結果概要について
----	------------------------------

概要	平成31年3月14日に第6回足羽川ダム環境モニタリング委員会を開催しました。委員会の結果概要は、別紙のとおりです。
----	---

取扱い	_____
-----	-------

配布場所	福井県政記者クラブ
------	-----------

問合せ先	国土交通省 近畿地方整備局 足羽川ダム工事事務所 副所長 <small>いまなか</small> 今中 <small>せいたろう</small> 静太郎 調査設計課長 <small>よこやま</small> 横山 <small>ひでき</small> 英樹 TEL 0776 - 27 - 0642 (代表) (内線 204・351)
------	--

第6回 足羽川ダム環境モニタリング委員会

【委員会の主旨及びこれまでの取り組み経緯】

足羽川ダム建設事業における環境調査及び環境保全措置について、専門家の意見を伺うことを目的に平成26年3月「足羽川ダム環境モニタリング委員会」を設立。

これまでに5回の委員会を開催し、足羽川ダム環境モニタリング計画や環境保全措置の計画についてご意見をいただき、ダム建設事業への進捗に合わせて環境保全に取り組んでいます。

【第6回環境モニタリング委員会 開催概要】

平成31年3月14日に足羽川ダム工事事務所において開催。

委員会では、平成30年モニタリング調査結果と環境保全措置の内容及び平成31年モニタリング調査計画（案）についてご意見をいただき、今後の調査及び環境保全措置の実施計画が確認されました。

委員会開催状況



福原委員長 挨拶



委員会開催状況

委員名簿（敬称略、五十音、◎委員長）

氏名	担当分野	現職等
おくむら みつし 奥村 充司	水環境	福井工業高等専門学校 環境都市工学科 准教授
くぼかみ そうじろう 久保上 宗次郎	鳥類 生態系	猛禽類研究家
なかむら さちよ 中村 幸世	植物	福井市自然博物館 学芸員
◎ ふくはら てるゆき 福原 輝幸	水環境	広島工業大学 工学部 環境土木工学科 教授
まつた たかき 松田 隆喜	魚類	福井農林高等学校 教諭

第6回 足羽川ダム環境モニタリング委員会

I. 事務局からの報告

- ・平成30年モニタリング調査結果と環境保全措置について
- ・平成31年モニタリング調査計画(案)について

II. 委員会での意見

委員からの意見及び事務局回答は以下のとおりです。

委員からの意見	事務局回答
クマタカ A, B, D, Eペアの周辺ペアについて、適宜コアエリアの検討を行う。	調査について、委員のご意見を踏まえ実施します。
大規模改変中における魚類調査の回数を増加できないか検討する。	魚類の調査回数、手法について、今後ご相談の上、本委員会にてご報告いたします。
アジメドジョウの保全措置において、移植は効果が少ないと思われることから、現生息環境の保全が有効と思われる。	ご意見を踏まえ、引き続き保全措置を検討いたします。
植物の移植先における生育環境について、適切な状態が維持されているか適宜モニタリングする。	ご意見を踏まえ、引き続きモニタリング調査を実施いたします。
平成30年の豪雪および平成31年の少雪という両極端となる気象状況、周辺環境の水環境への影響について考察を行う。	考察結果について、本委員会にてご報告いたします。
トンネル工事等に伴う処理水の放流にあたっては、十分な希釈効果を確保できるような場所に放流する。	処理水の放流場所について、ご意見を踏まえ検討いたします。
過去の流量とSSおよび濁度について、相関を整理するとともに、今後の大規模改変中のデータとの比較を行い、考察する。	データを整理し、改めてご報告いたします。

III. 今後の予定

- ・平成31年モニタリング調査計画に基づきモニタリング調査を実施する。
- ・環境保全の実施にあたり、新たな課題が生じる場合は、適宜、委員よりご指導・ご助言を頂き、必要に応じて、速やかな対応を図る。
- ・次回は、平成31年中に現地視察を実施するものとし、調査結果の報告は平成31年モニタリング計画の実施を踏まえ、12月から翌年3月頃に開催する。